

令和6年度 道徳授業地区公開講座 あいさつ

お忙しい中、ご参会いただきありがとうございます。

初めにこの「道徳授業地区公開講座」がなぜ始まったかを簡単に説明させていただきます。

昔は「道徳」という授業は時間割にはありましたが、積極的にはおこなっていませんでした。私が先生になったころ30年前以上ですが、「道徳の授業」の準備をした記憶がありません。ベテランの先生曰く「学校生活すべてが道徳だ」と豪語していました。

それが、バブル時代に入り、日本全体が浮かれ出したこともあり、日本の道徳心が薄れつつあるような不穏な時代に突入。

まず、子供の頃に確かな道徳心を「養わねば」という思いから、道徳の授業をちゃんとやりなさい。ということになりました。

そして平成10年「東京都教育委員会は、学校、家庭及び地域社会が一体となって子供たちの豊かな心を育むとともに、小・中学校等における道徳教育の充実を図ることを目的として、区市町村教育委員会と連携して、都内公立小・中学校等で道徳授業地区公開講座を開催」を開催するようになりました。

そして、「特別の教科道徳」の教科書もでき、通知表に評価も記載するようになりました。道徳の授業の内容はA「主として自分に関すること」B「主として人とのかかわりに関すること」C「主として集団や社会とのかかわりに関すること」D「主として生命や自然、遂行奈ものとのかかわりに関すること」の4つに分かれていて、22の内容からできています。今日の授業はA-1主として自分自身に関すること「向上心。個性の伸長」の内容の授業を行いました。

社会では多様化についての考えが進み、多くの場面で個性を大切にしながら協調していくことの必要性が問われています。5時間目は西原様から、「自分らしく生きる」というテーマでお話をいただきました。

西原先生にお伺いしたところ、まだまだ暮らしにくいことはたくさんあるとのこと。生徒たちが中心とな時代には、誰もが安心して生活できる社会になることを願います。

協議会が活発になりますよう、よろしく願いいたします。